

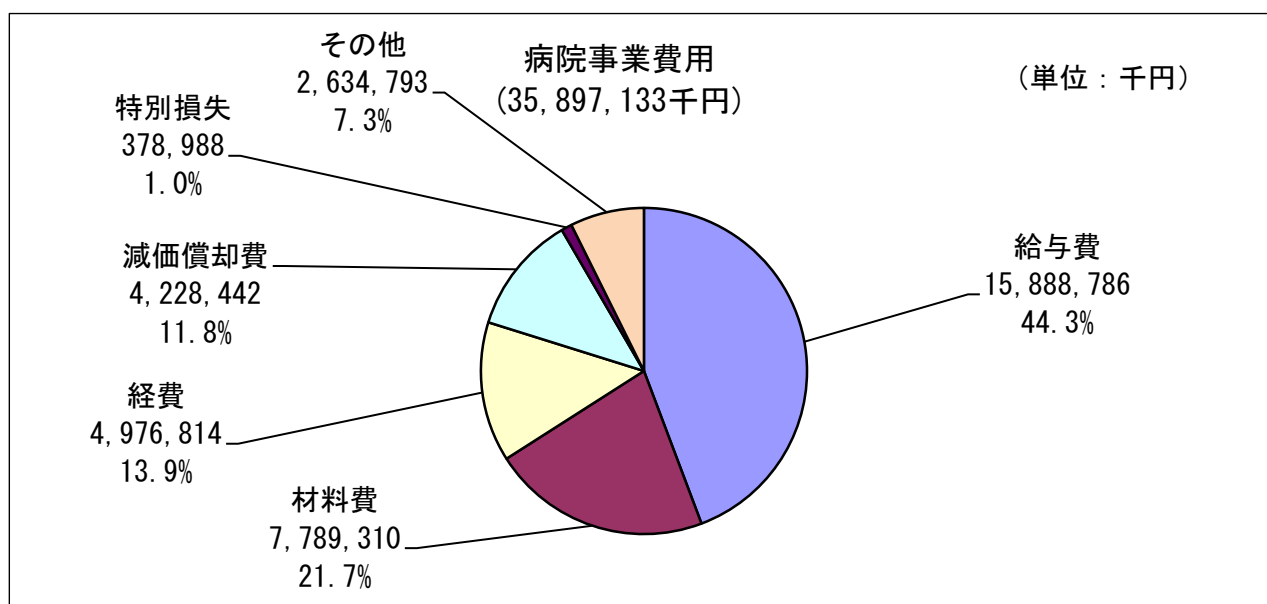
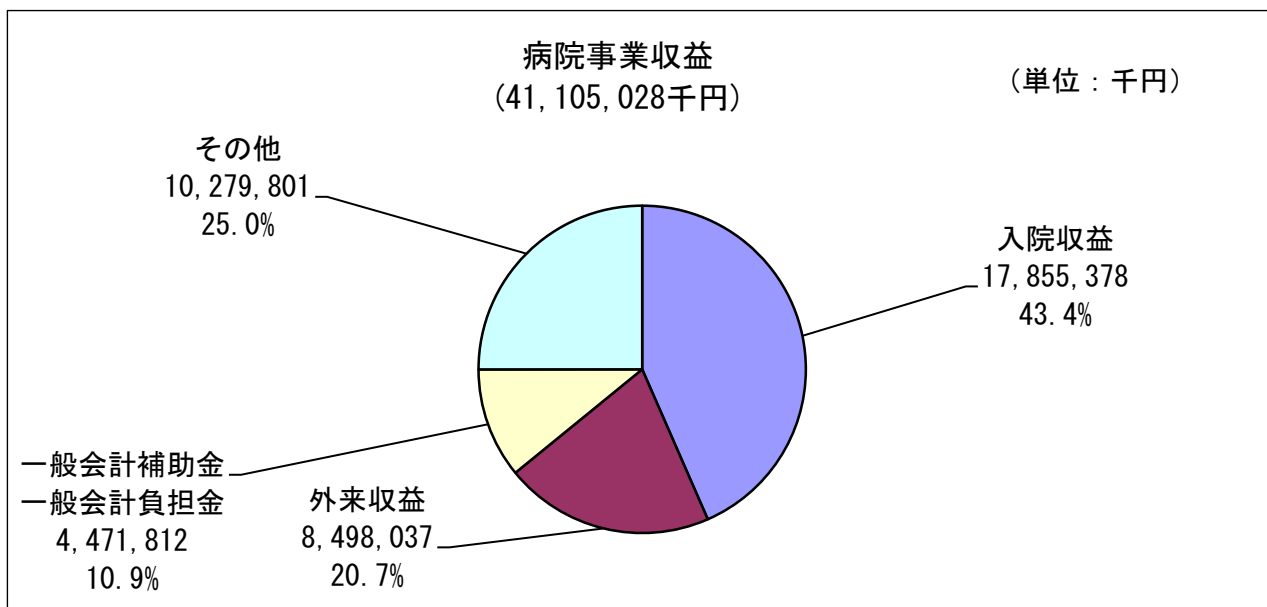
名古屋市病院事業会計 令和2年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

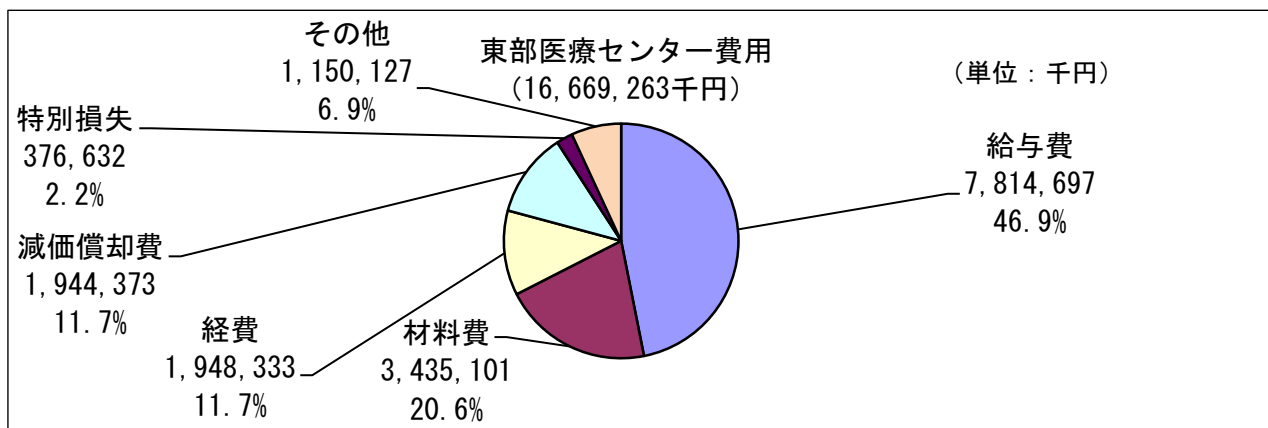
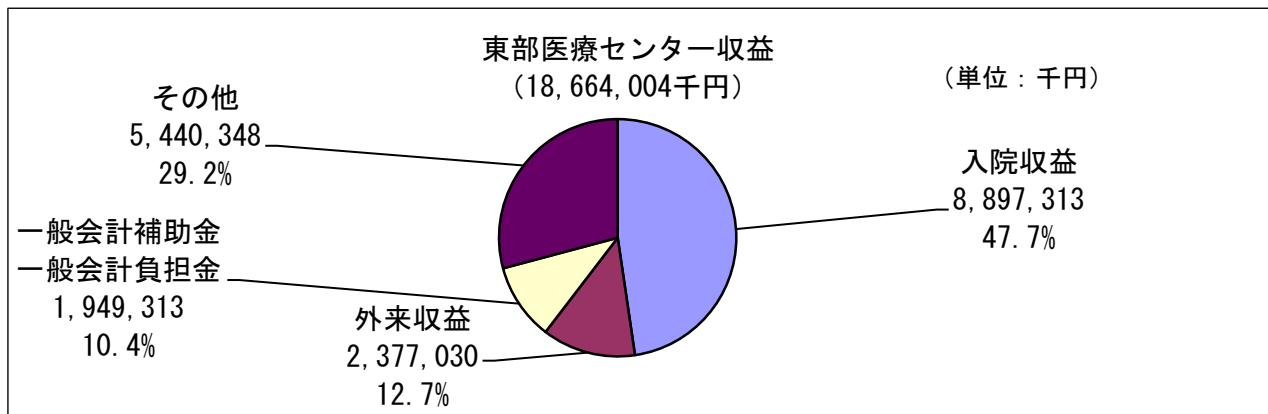
令和2年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、東部医療センター及び西部医療センターの名古屋市立大学医学部附属病院化に伴い、不要となった退職給付引当金を取り崩し、特別利益に計上したことなどに伴い、68億3千5百万円余増の411億5百万円余であるのに対し、総事業費用は、東部医療センター旧棟の減損処理に伴う特別損失が減少したことなどにより、11億3千万円余減の358億9千7百万円余となりました。その結果、52億7百万円余の当年度純利益となり、当年度未処理欠損金は80億4千3百万円余となりました。

令和2年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは院内保育所移転改修工事、西部医療センターでは天井等落下防止対策工事等を行い、東部医療センターの人工心肺システム、西部医療センターの磁気共鳴断層撮影装置、緑市民病院の医事システムなど、各病院の設備充実にも努めました。

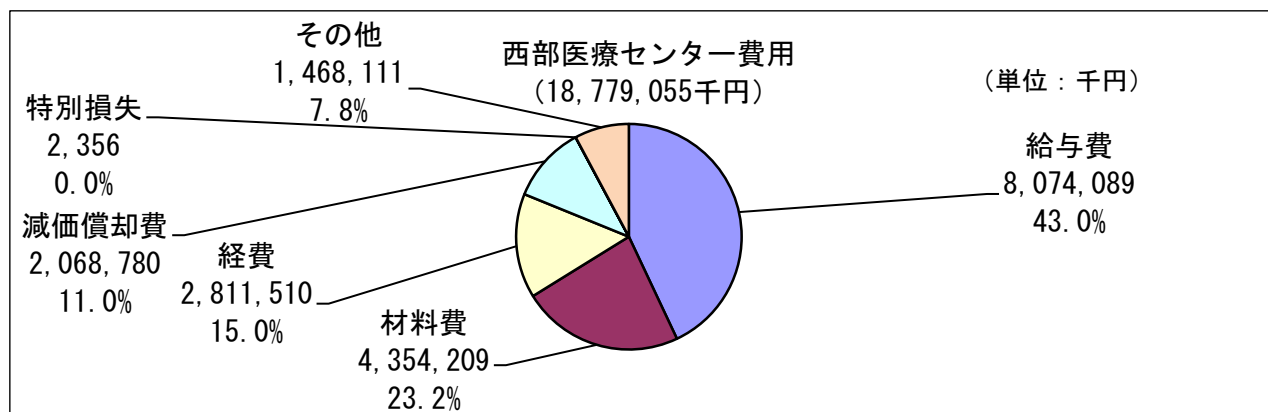
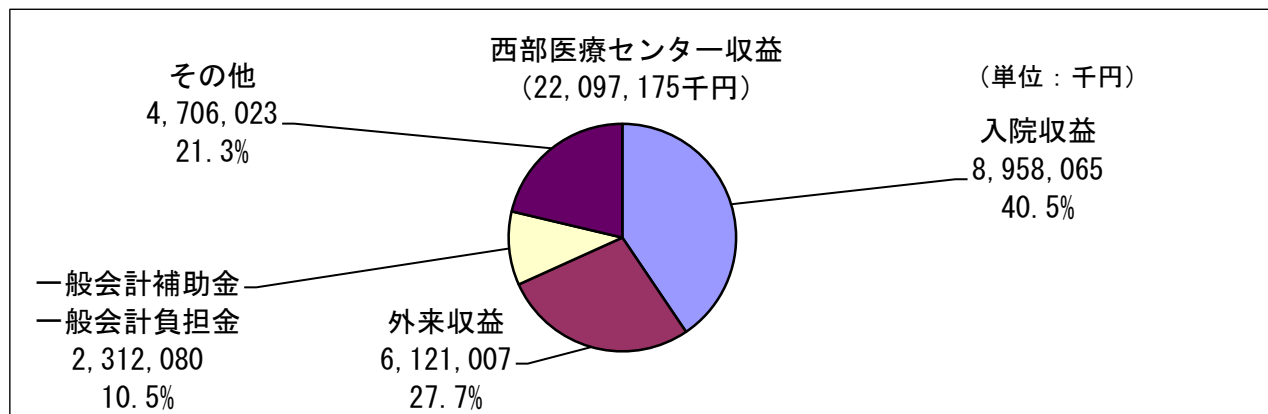


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

